

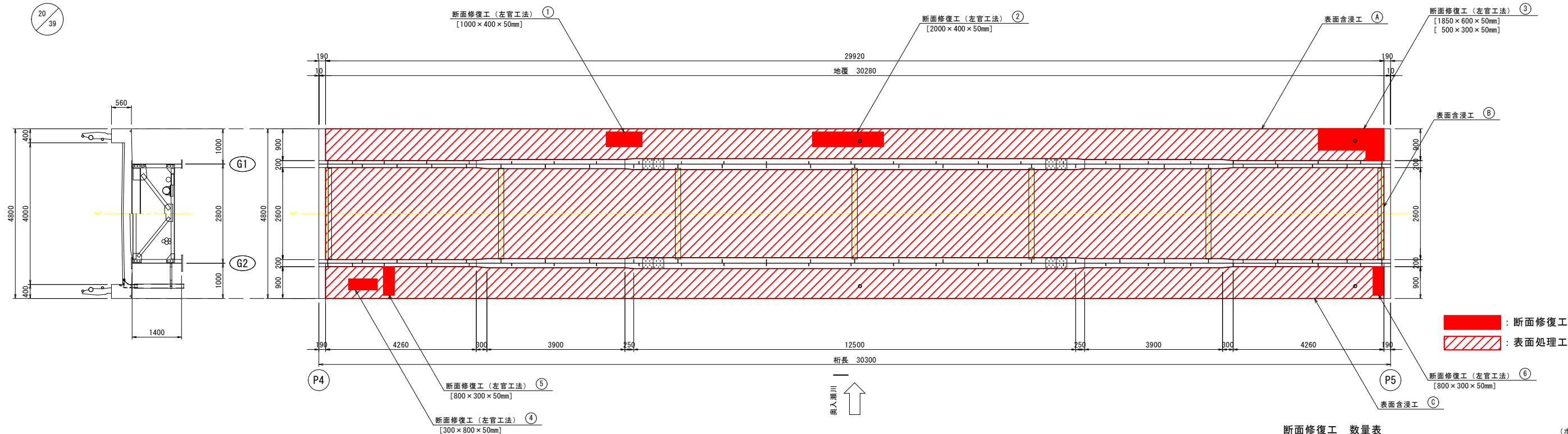
令和8年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 8 号	
路線 河川		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
床版補修工図 (その5)		縮尺	図示
図面番号		業中	
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 床版補修工図（その5）

第5径間 桁下面

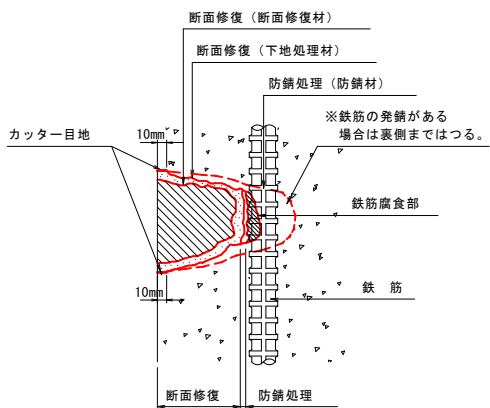
平面図

S=1:60

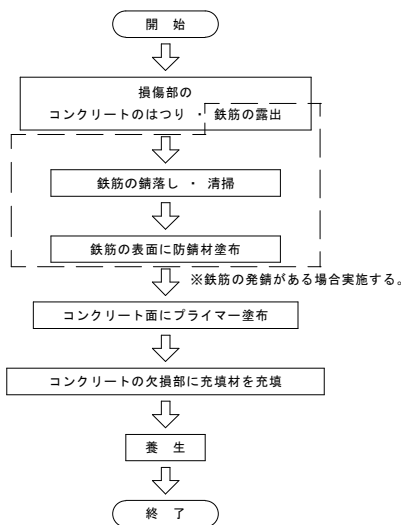


断面修復工
表面処理工

断面修復工〔左官工法〕

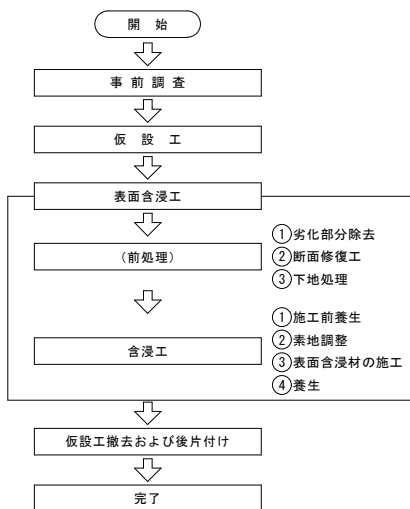


断面修復の施工フロー



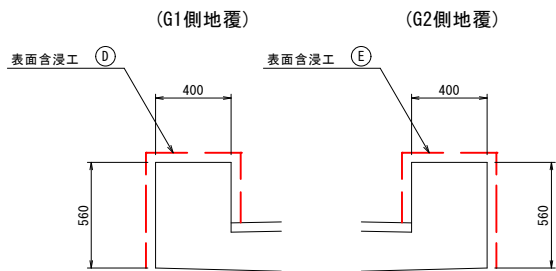
表面含浸工

表面含浸工の施工フロー



地覆断面図

S=1:20



断面修復工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工 法	箇 所	寸 法		数 量
左官工法	床版	①	1.000 × 0.400 × 0.050	= 0.020 m ³
		②	2.000 × 0.400 × 0.050	= 0.040 m ³
		③	1.850 × 0.600 × 0.050	= 0.056 m ³
			0.500 × 0.300 × 0.050	= 0.008 m ³
		④	0.300 × 0.800 × 0.050	= 0.012 m ³
		⑤	0.800 × 0.300 × 0.050	= 0.012 m ³
		⑥	0.800 × 0.300 × 0.050	= 0.012 m ³
				合計 = 0.16 m ³

表面処理工 数量表

工 法	箇 所	寸 法	数 量
表面含浸工	床版	① 0.900×4.260×2	= 7.668 m ²
		((0.900+0.870) × 0.300 / 2) × 2	= 0.531 m ²
		0.870×3.900×2	= 6.786 m ²
		((0.870+0.845) × 0.250 / 2) × 2	= 0.429 m ²
		0.845×12.500	= 10.563 m ²
		② 2.600×4.260×2	= 22.152 m ²
		((2.600+2.540) × 0.300 / 2) × 2	= 1.542 m ²
		2.540×3.900×2	= 19.812 m ²
		((2.540+2.490) × 0.250 / 2) × 2	= 1.258 m ²
		2.490×12.500	= 31.125 m ²
	③ 0.900×4.260×2	= 7.668 m ²	
	((0.900+0.870) × 0.300 / 2) × 2	= 0.531 m ²	
	0.870×3.900×2	= 6.786 m ²	
	((0.870+0.845) × 0.250 / 2) × 2	= 0.429 m ²	
	0.845×12.500	= 10.563 m ²	
	地覆	④ (0.320+0.400+0.560) × 30.280	= 38.758 m ²
		⑤ (0.320+0.400+0.560) × 30.280	= 38.758 m ²
	合 計		

注記

- 本図面は、既存資料および現地調査をもとに作成した図面である。
- 補修事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- コンクリートの脆弱部は確実にはつり落し、補修を行うこと。
はつりは最低50mm以上は行うこと。